

第9節 広州の商圈概況

1. 広州の商圈実態

小売市場が発達している広州市では、商圈は極めて広範囲にわたる。そのため、広州市において最も人気のある以下の4つの商圈に焦点を置く。

- (1) 北京路商圈
- (2) 天河商圈
- (3) 農林下路商圈
- (4) 環市東路商圈

〔広州市内主要商圈の位置関係図〕



(1) 北京路商圈

北京路商圈は、広州市の観光資源と商業施設が混在し、観光客も多く訪れる場所となっている。北京路、大佛寺、南越王墓、古書院が連なり、広州市の最も特徴的なエリアとして歴史を保存・継承していく役割も担っている。

市の中心部にある北京路は、広州の銀座と言われる街で、地下鉄1号線と2号線が交わり、多くの路線バスが同地区を走っている。北京路の歩行者専用区間は北京路商圈におけるメインストリートで、「広州第一街」とも呼ばれ、商業施設が最も密集し、さまざまな商店が建ち並んでいる。若者からお年寄りまで、多くの人が行き交い、活気に満ち溢れた街である。



北京路の歩行者専用道路から「広百大厦」を中心に、北から中山五路、南は文明路まで、人の流れが最も多い地区である。そして、政府の政策の下、北京路商圈は南へ大きく拡張しつつある。

同商圈において、「光明広場」、「名盛広場」、「五月花広場」など新しい商業施設が開発され、新しい活力を注ぎ込んでいる。無論、多数の商業施設が参入することにより、競争が激しくなる。

「広百百貨」と「新大新」は、北京路のシンボリックな老舗である。両店とも観光客をターゲットにしている。一方、同商圈にある「光明広場」は若者向けのショッピングセンターであり、メインの客層は中高所得者層が多く見られる。激戦の中、「光明広場」は経営状況が悪化し、2007年8月よりその経営が「盛世中華百貨有限公司」に引き継がれた。

同商圈においては、多数の百貨店が存在するものの、大型ショッピングモールは少ない。2005年に香港の大手デベロッパー「麗新集団」(ライサンガーメント)が出資で設立した「五月花商業広場」は、現在、北京路商圈における唯一の大型ショッピングモールである。

「五月花商業広場」には、多数の飲食店、高級スポーツクラブ、シネマコンプレックスなどのレジャー施設が完備されている。同施設の開業は、北京路商圈全体のイメージを一新して、若者に対する集客力も高まっている。

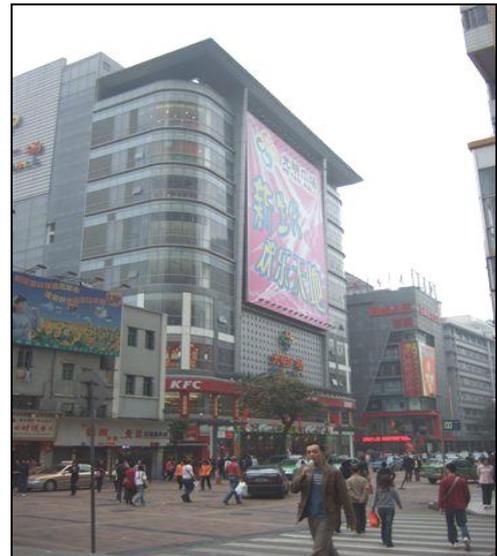
また、同商圈には百貨店、ショッピングモールの以外に、庶民向けの売店、卸市場、商店街も混在している。

主要な商業施設:「新大新百貨」、「広百百貨」、「光明広場」、「名盛広場」、「五月花商業広場」等
(出所:中国広州情報中心、旅行のクチコミサイト フォートラベル)

(2) 天河商圈

天河商圈は、商業、ビジネス、娯楽等の施設が集まった繁華街である。現在、広州商業地区における繁栄の象徴で、商業面積は200万㎡を超え、その規模が「中華第一商圈」と称されている。

天河商圈は、石牌東路から天河歩道橋までのエリアを中心にして繁華街が形成されており、中心部としての「天河城」とその付近には、「正佳広場」、「維多利広場」、「宏城広場」など大型ショッピングモールがあり、洋服店、飲食店、娯楽施設などで構成される。



繁華街—北京路の様子

光明広場建物外観



天河城ショッピングモールの入口

「天河城」は広東天河城(集団)股份有限公司が投資・開発・建設・管理するショッピング、飲食、娯楽、レジャー、ビジネスの機能を集めた大規模なショッピングモールである。

同ショッピングモールには、「広州購書中心」、「広州電腦城」、「頤高數碼廣場」、「摩登百貨」など若者向けのモールが多数ある。

天河地区は広州において重要な交通の中枢地区でもある。60本の路線バスのほか、地下鉄が同地区を通っている。地元の人々だけでなく、観光客にとって魅力的なショッピングスポットである。

同商圈内にある2006年に業の「Lilys'生活館」は、女性に人気のある百貨店である。同店は「正佳広場」の1~2階に入店、売り場面積が約5,000㎡となっており、豪華な内装が広州の女性の目を引く。店内にはアパレル商品を中心として、中高級品がラインナップされている。広州初登場のブランドも多数存在している。「Lilys'生活館」は明確なターゲットの設定からショッピング環境作り、商品構成まで一貫しているため、開業してから繁盛している。



Lilys'生活館正面

2009年開業の「太古匯」は、太古地産が出資・建設する大型総合商業施設である。建築面積は40万㎡に達し、ショッピングセンター、オフィスビル、ホテルを含む大型複合施設である。また、同商圈内にはパソコンなど情報家電ショップが集中しており、「頤高數碼廣場」、「天河」、「百腦匯」、「南方」などが店を構えている。

主要な商業施設:「天河城」、「正佳広場」、「維多利広場」、「宏城広場」、「広州購書中心」、「広州電腦城」、「摩登百貨」など。

(3) 農林下路商圈

農林下路商圈は、広州市において昔から有名な商圈のひとつである。周辺には、省政府、高等学校、病院、大手企業などが集まっている。近年竣工した分譲マンション「東山錦軒」、「東山華府」の主な住民は、25~45歳の知識人を中心とした中所得者層である。

同商圈は、東に広州大道、西に東川路、南に東華東路、北に環市路によって形成される。地下鉄1号線と6号線が同商圈を通る。

同商圈のメイン通りが「農林下路商業街」である。さらに付近の署前路と亀崗大馬路を連携して、約1km²の商業圏を形成させる計画である。新商圈には買い物、飲食、娯楽機能を集約し、オフィスビルも建設される。

新商圈におけるメイン商業施設は2012年に完成を予



農林下路商店街

定する「建和商業広場」である。同広場の敷地面積は 8,400 m²、建築面積は 86,000 m²、30 階建てのビルが二棟で構成される。その総投資額は 7 億元、改修も含めると 10 億元にのぼる。大型ショッピングセンター、オフィスビル、サービスマンション(ホテル)が一体となる施設は、同商圏の集客力アップが期待できる。

農林下路商圏には「王府井百貨」が主力百貨店である。

「王府井百貨」の商品構成は中級品がメインである。客層は 20 代後半から 40 代前後までのローカル消費者である。「東山百貨」は広州市の老舗である。商品構成は、日用品を中心とした中低級品である。これは同店の大衆化路線を反映する。

総じて、同商圏には百貨店など大型商業施設以外に、洋服店、靴屋、下着専門店、ブライダルショップ、美容院などで構成されている。

主要な商業施設:「王府井百貨」、「好又多百貨」、「東山百貨」、「東山口商業城」、「建和利柏商業大道」、「港灣百貨」、「多利通名店城」、など。(出所:導購ネットにより抜粋)



王府井百貨の正面入口

(4) 環市東路商圏

環市東路商圏は、広州市の中心部エリアにある。環市東路商圏では、広州市の経済レベルを伺える。高所得者層、購買力の高い消費者がこの商圏で多く見られる。

「麗柏広場」、「友誼商店」など高級百貨店が出店している同商圏は、前述した北京路商圏などに比べ落ち着いた高級感が溢れるエリアである

なお、同商圏は広州市の CBD に属し、オフィスビルが立ち並ぶ。ジーンズ、イライクスなど多くの海外企業が中国南部の本部をここに置く。

同エリアで開発された「世貿中心」、「広東国際ビル」、「電子ビル」などは、広州における知名度が高いオフィスビルである。また、5 つ星ホテルとしての「花園飯店」、4 つ星ホテルの「白雲賓館」など高級ホテルもある。

「麗柏広場」は 2004 年にオープンした広州環市東路商圏にある高級百貨店である。

同店の建物デザインが大胆で、オリエンタルイメージが漂っている。店内には LV、BULGARI、FENDI など海外トップブランドショップが入居し、全てのテナントが独立している。

客層は地元の高所得者層のほか、海外の観光客もよく訪れる。同商圏から空港までのシャトルバルがあり、アクセスが非常に便利である。現在工事中の地下鉄 5 号線は、同商圏に駅を設置する予定。5 号線は広州市から東莞市まで直通で繋がる。同商圏は広州市の交通中枢にあり、更なる発展が期待され



麗柏広場

る。

主要な商業施設:「麗柏広場」、「友誼商店」、「世貿新天地」など。(出所:導購ネット)

2. 広州市概況

広東省の省都である広州市は、北方の北京、東の上海に次ぐ南方の大都市である。華南地区において最大の商工都市でもあり、広東省の政治、経済、科学技術、教育、文化、交通の中心地である。また、歴史文化に溢れた街であり、2200年以上歴史を有す城壁など名所旧跡が各所に見られる。

広州は国内外の文化が融合した嶺南文化の発祥地で、古くから栄えた商業都市として、昔から貿易、文化往来において、重要な沿海都市であった。

広州市は略称を「穗」、別称を「羊城」と称され、2800年の歴史がある。中国で最初に開かれた貿易港で、海のシルクロードの起点として栄えてきた。古代の東西貿易では、西域のシルクロードが有名だが、海上による交易も盛んで、その中心地は今の広州市に当たる。

中華人民共和国成立後、中国の対外経済交流が閉鎖された。国は1957年以降、毎年の春季と秋季に広州交易会として開催し、内外の交流を促進してきた。近年、貿易規制が緩和され、広州交易会に類似した貿易会が全国各地で開催されるようになったものの、広州交易会こそ今でも最大の規模を維持し、中国の輸出において重要な地位を保っている。

(1) 地理、気候

広州市は広東省の中南部、珠江デルタの北部に位置し、華南地区の交通・通信の中枢で、主要貿易港である。北部は山地、中部は丘陵盆地、南部は沿海沖積平原である。

気候は亜熱帯に属し、北回線が広州を横切っている。年平均気温 21.7℃、過ごしやすい気候の広州市は、全国で平均温度差が最も小さい大都市のひとつである。山を背に、海に面しているため、温暖で多雨、夏季が長く、霜期が短い。一年中雨に恵まれ、植物の成長に適しているため、四季を通じて花や緑に溢れている。年平均降雨量は 1,982.7mm で、平均湿度は 77% である。4月～6月は雨季で、8月～9月は気温が高く、台風が多い、10月～12月は過ごしやすい気候で、観光に最適な時期である。

(2) 面積、人口

広州市の総面積は、7,434.4 km²。市区地区面積は 3,718.5 km²で、総面積の 50%を占めている。常住人口は 1270.08 万人に達した。

(3) 市区構成面積

広州市は、10行政区と2つの県・市からなる。具体的には、越秀区、海珠区、荔湾区、天河区、白雲区、黄埔区、花都区、番禺区、南沙区、蘿崗区、そして从化市、增城市である。

(4) 交通

① 飛行機

2004年8月開通の広州新白雲空港は、中国では、北京首都国際空港、上海浦東国際空港に並ぶ、

三大空港の一つとなっている。新白雲空港は敷地面積 1,330 万㎡、滑走路 3 本、空港棟建築面積 60 万㎡である。2010 年、年間乗降客数は 40,823,665 人、中国国内 2 番目を誇る国際空港である。

②鉄道

広州駅と広州東駅の二つ駅があり、北京や上海、内陸への長距離列車は主に広州駅から発着する。深センや香港行きの列車は広州東駅から離着する。また、時速 160km の高速列車を利用し、約 2 時間で香港に着く。

③地下鉄

1999 年、1 号線が開通し、広州東駅から西朗駅まで、香港、深センからの列車が到着する広州東駅と接続している。2 号線は広州市白雲区の嘉禾望崗駅から番禺区の広州南駅までを結んでいる。3 号線は機場南駅～番禺広場駅間を結ぶ本線と、天河客運駅～体育西路駅間を結ぶ支線から成る路線である。2010 年 10 月 30 日、3 号線(機場線) 広州東駅～機場南駅間が開通した。広州では、1 号線、2 号線、3 号線の以外には、4 号線、5 号線、8 号線も運行している。6 号線、7 号線、9 号線は建設中。6 号線 1 期工事は 2012 年に開通予定。

④高速道路

マカオへは珠京高速道路を利用して、2 時間弱で到着する。北京とは京広鉄道、京珠高速道路で結ばれる。また、広清高速、新空港高速、北二環高速、珠江デルタ高速があり、珠海まで約 1 時間半、東莞まで約 1 時間、深センまで 1 時間半弱と交通は至便である。

(5)文化

広州は中原文化と西洋文化を融合し、嶺南文化と呼ばれる独自の文化が形成される。広東語は中国語で粵語または白話と称し、標準語(北京語)とは異なる文法体系で独自の漢字もある。北京語と広東語は、英語とドイツ語のように異なるほどと言われている。標準語教育の普及により広州の都市部では、標準語が通じるようになった。一方、郊外や農村地区では、広東語しか通じないところも多い。

広東料理は中国 8 大料理のひとつで、海鮮を多く使い、素材の持ち味を生かす、あっさりとした味付けが特徴である。広州人は唐辛子を使った辛い料理が苦手である。生活では、医食同源の考え方が根付いており、食事には必ず健康的なスープが付く。レストランは、朝の「早茶」から、昼食「午市」、午後の飲茶「下午茶」、夕食「晚市」、夜の飲茶「夜茶」まで、早朝から深夜まで営業している。